



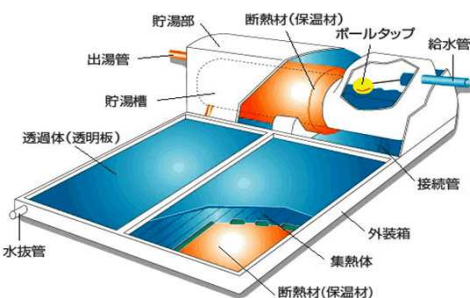
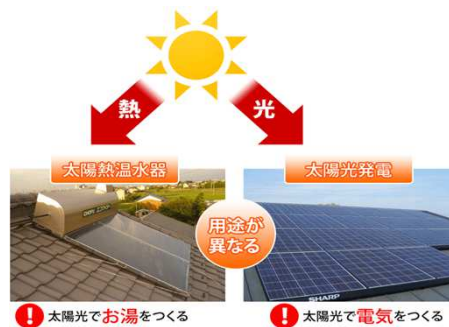
6月の話題と言えば、一般的には「衣替え」「梅雨入り」「父の日」などがあげられます。近年は「クールビズ」が席卷、しかも、昨年「スーパークールビズ」に、1カ月前倒して5月から、もう始まってま〜す！この時期になると、ノーネクタイの人、急増！お父さん方も、かっこいいクールビズ用？のシャツに変身。近頃は、単に、ノーネクタイとは一味違って、いろいろな工夫が、夏季の軽装に提唱されています。電力不足がより一層話題になった昨年から、さらなる軽装が取り組まれています。やはりわが職場では、作業服が一番かも？みなさんも時と場合を考えましょう。就職活動中の学生さんたちは、慣れないリクルートスーツに身を包み今日も汗だくで奮闘中です。・・・(花の名前:クレマチス・シブヤ庭園にて)

今だから「太陽熱温水器」っていかがですか？

※太陽熱温水器は、1970年代の石油ショック以降、低コストの給湯設備と注目され、1980年代には出荷台数80万台を突破しました。しかし、石油価格の低下とともに販売台数は下降、しかしながら補助金制度、導入費用が安いなど、再び脚光を浴びています。

太陽光に含まれる赤外線を熱として利用すること
水を温める装置である。(つまり、お湯をつくり、右図の太陽光発電との違いは、つくるもの。)

太陽の熱で水を温め貯湯し給湯する蓄熱式の給湯器。太陽光の40~50%を熱として利用できる。既存の再生エネルギー利用機器の中ではエネルギー変換効率や費用対効果が最も高く20年程度の耐久性が確認されている。新エネルギーに指定され、各種の補助金制度などがある。



主な形式

- ①タンク一体型(集熱器(ソーラーパネル)と貯湯槽が一体となったもの)循環式と呼ばれ、水は集熱器と貯湯槽との間を対流により自然に循環することで温められる。
- ②水道直結型 高低差に関係なく地上に置くことが出来るため屋根への地震対策として利用が増えている。
- ③タンク分離型 屋根上の集熱器と、地上の貯湯槽に分離している形式のシステムである。ポンプを運転する電気が必要なこと、価格がやや高くなるのが欠点。

ECO×モ・・・今年の夏も一歩進んだ「スーパークールビズ」

- (1) 室温28度の徹底: フィルターの掃除、室外機の廻りにものを置かない
- (2) ワークスタイル: 勤務時間を朝型にシフトするなど、残業を減らす工夫など
- (3) ファッション: 職場のマナーに配慮しながら、高機能素材のシャツの活用
- (4) オフィス: ブラインド、カーテンで直射日光を遮る工夫、すだれの活用など
- (5) アイデア: 打ち水、冷却ジェルシートの利用、料理の、夏野菜のとりいれ

・・・政府オンライン より」

<家庭での節電ポイント>

- ・照明の点灯時間を短くする
- ・こまめにスイッチオフ
- ・冷蔵庫の開閉を少なく(ものを詰め込み過ぎない)
- ・テレビの画面は明るすぎないように→省エネモード
- ・炊飯器での保温、電気ポットの使用を控える

